

新幹線プレス

2012年 8月4日 No.66

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

世界一危険な航空機=オスプレイ配備に反対しよう!!

アメリカが普天間基地に配備する米海兵隊の主力兵員輸送機MV22（オスプレイ）12機が7月24日に岩国基地に陸揚げされました。

このオスプレイは、未亡人製造機とも呼ばれ、開発段階からこれまで死者30名を出す墜落事故をくり返しています。

野田佳彦首相は「きちんと安全性が確認されるまで、日本での飛行は行わない方針だ」とし、森本防衛相は「安全性を確認するまで一切の飛行を行わない日米間の約束を米側は守ってくれると思う」としていますが、日米両政府は8月下旬にも岩国での試験飛行を実施し、10月に沖縄での本格運用を開始する方針を変えてないのが現実です。



これ以上沖縄を!宜野湾市民を犠牲にするな!!



世界一危険な飛行場といわれている普天間基地は、基地の周り360度全てが住宅地帯です。

基地のすぐ側には、小学校、中学校、高校大学などの教育施設も立ち並んでいます。

2004年には沖縄国際大学に米軍ヘリが墜落しています。また、82年と92年には普天間第二小学校近くにやはりヘリが墜落しています。

また、オスプレイが配備されたら、普天間は返還どころか固定化されてしまう危険があります。

これ以上沖縄の人たちだけに犠牲を強いるわけには行きません。

日本全土が飛行訓練空域に!!

普天間基地配備後には、毎月2~3日間、キャンプ富士と岩国基地に展開し、日本全土の6つの訓練ルートで高度わずか150メートル低空飛行訓練などが計画されています。

当然、沖縄の仲井真知事をはじめ、全国の多くの自治体の首長が反対していますが、森本防衛相は、「最終的には米側が判断する事」としています。

日米安全保障条約を結んでいるからこそ日本国民を危険な目にさらしてしまうという矛盾に目を向けて、オスプレイ普天間基地配備反対の闘いを構築しましょう!!

